

当園ではこの度、2021年度の幼稚園学校評価として、教職員自己評価及び学校関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

## I. 教育目標

当園は子供たちの無限の可能性を伸ばすために、その人格形成の基礎となる大切な幼児期を、のびのびと明るく楽しく、すくすくと元気に、また、心優しく情操豊かに過ごせるよう、さまざまな経験や活動を実践しています。ひとりひとりの個性を大切に、おおらかさの中で、知性・感受性・健全な心身をはぐくんで参ります。

## II. 今年度の重点目標

●教職員の資質向上    ●安全管理体制の充実    ●家庭との協力・連携    ●サービスの向上

## III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	評価	取組み状況
1 教職員の資質向上	読み聞かせは本園の特徴であるため、今度も継続していき、子どもだけでなく職員の心の成長にもつなげていきたい。 読み聞かせが特定の職員に偏ることのないよう、若手職員にも前に出る場を積極的に作っていく。 これまでは園長先生が良い絵本を選んで下さっていたが、職員もその力を育てていく必要がある。	A	毎日行っているお部屋での絵本の読み聞かせや、全学年合同朝礼、紙芝居を通じて、子どもたちが文字に興味を持ち、注目し、読めるようになっている。その結果として、集中力や聞く力、想像力など様々な面を育むことができています。 また読み聞かせの際には、職員ごとに工夫を施しており、先輩職員の良い点を後輩職員が学ぶ機会にもなっている。
2 安全管理体制の充実	引き続き、職員会議などで防災や安全管理について確認し合う必要がある。 コロナ禍の影響もあり、避難訓練や不審者対策などが十分だったとは言えないため、安全を徹底した上で各種訓練を実施していきたい。	B	昨年度は地震も多く、机の下に隠れることを子どもたちは何度か経験した。地震による避難訓練以外にも、消防署による火災避難訓練や消火訓練を実施できた。 また園長先生による防災に関するお話を聞いたり、災害に関する絵本も積極的に読むことで、子どもたちだけではなく職員も学びが多かったように思う。ただし、コロナ前よりも訓練の頻度は減っているため、園内研修等で安全管理について話し合いを行いたい。
3 家庭との協力や連携	感染対策上、保護者・園児との直接の会話頻度が減っている傾向にあるため、連絡ノートや電話なども活用しつつ、可能な限り直接コミュニケーションをとっていききたい。 また、園長先生にも密に報連相を行うことで、適切な返答や会話を行い、ご家庭との信頼関係作りにもさらに力を入れていきたい。	A	コロナ禍ということもあり、直接のコミュニケーションはやや控えめにならざるを得ないが、従来通り、連絡ノートや電話も使って保護者と密な連絡をとることや、行事で子どもの普段の様子を見てもらうなどして、保護者に安心してもらえるように意識している。 園長先生への報告ははもちろんのこと、学年での情報共有も意識的に実施している。

評価項目	取組み内容	評価	取組み状況
4 サービスの向上	ベテランと若手との間に力量に差があるのは当然のことなので、ベテランはフォローしながら教え育てる、新人は自ら積極的に相談して動く、といった意識を引き続き維持する。その結果、幼稚園全体のレベルアップにつなげていきたい。	B	先輩と後輩の世代間ギャップが見受けられることがあった。後輩職員は素直に指導を受け止め、先輩の保育を見ながら学んでいく、分からないことはすぐに確認する、といった姿勢をもつ必要がある。一方の先輩職員は、先輩から後輩へ歩み寄ることや、自分が若手の頃に失敗した経験などを思い出しつつ相手を受け入れる心掛けが必要だと感じる。より良い教育を提供するためには、職員同士のコミュニケーションも重要であるため、引き続き職員間の連携を重視していきたい。

## 【評価の基準】

S	十分達成されている
A	達成されている
B	取組まれているが、成果が十分でない
C	取り組みが不十分である

## IV. 今後取り組むべき課題

1	教職員の資質向上	読み聞かせの技術を習得するには一定の研修や経験が必要である。各クラスでは担任が読み聞かせを行っているが、合同集会では読み聞かせを行う職員が固定されつつあるので、当番制にするなどして若手にも経験を積ませられるようにしたい。これからも絵本教育は大切にしていきたい。
2	安全管理体制の充実	どこで何が起こるか分からないという意識を保育者は常にもち、様々な防災・防犯対応ができるような訓練を引き続き行っていきたい。またコロナ禍ではあるが、訓練の回数を増やしていきたい。
3	家庭との協力・連携	保護者から連絡や相談があった際には園長や先輩職員に報告を入れることとなっているが、タイミングが合わないなどで伝達遅れが生じることもあったため、特に重要な件は記録を残していく必要があると感じている。
4	サービスの向上	各学年、ベテランと若手がペアとなって配置されているので、ベテランはフォローしながら教え育てる、新人は相談しつつ自ら積極的に動く、といった意識を双方がもつべきである。

## V. 学校関係者の評価

## 《学校関係者①》

毎年子どもたちに手洗い・うがい・歯磨きの指導を丁寧にされており、園内でのコロナウイルスの感染拡大も抑えられているように思います。これからも読書教育や音楽教育を大切に子どもたちを情操豊かに育て下さい。

## 《学校関係者②》

子どもたちの心の教育を一番に考え保育をされているのが伝わって参ります。子どもたちの運動能力が低下してきている中、園では子どもたちが広い園庭でおもいきり走り回り、子どもたちの健康な体作りにも努めていることがわかります。これからは幼稚園の教育の質を維持し、さらなる発展を願っております。

## 《学校関係者③》

園内に入ると子どもたちも先生も元気よく挨拶をしてくれます。挨拶や感謝などの礼儀作法を大切に指導されているのが伝わって参ります。明るさや優しさあふれる楽しい幼稚園の標語の通りの幼稚園だと思います。園長先生はじめ、ベテランの先生、若手の先生とともに協力して日々の保育を大切にされているのが伝わって参ります。これからは質の高い教育を目指し、精進してください。

## 《学校関係者④》

先生方が子どもたちに丁寧にかかわっておられることは素晴らしいです。子どもたち・園長先生と先生方の人間関係の密度が良く、御努力と、仲良く助けあっていることが素晴らしいです。地域の方々や卒園生・卒園生の保護者とも永く絆をもっておられるのは尊いことだと思います。これからは伝統を大切に心育で励んで下さい。

## 《学校関係者⑤》

幼い子どもたちの人間としての一番大切な時期に良い環境に出会い、人格形成の根幹・基礎土台を育まれることは素晴らしいと思います。先生方の人格資質向上にもつながります。達成感を上向きにもちつつ努力しておられると思う。コロナ禍で大変な中、子どもたちにうがい・手洗い・顔洗いのこまめな指導と毎日の先生方の清掃や消毒のお陰で今のところ園内のコロナ感染者がなく過ごされていることは素晴らしいと思います。これからは子どもたちの為に安心安全な環境づくりに努めて下さい。

## 《学校関係者⑥》

質の高い教育を目標として、一人一人を大切に丁寧に指導されていることが伝わってまいります。これからは心ある教育を継続し、優しさあふれる幼稚園を築いてください。

## 《学校関係者⑦》

防災教育に関する新しい紙芝居やお話絵本等を購入し、積極的に防災教育に取り組まれていると思います。災害のおそろしさなどを伝えるだけでなく、危ないことがある・気をつければ良いこと、身を守るなどの安心安全の生活の基礎を養うことは大切である。先駆けとして実践をお願いします。これからは心の教育を継続し、優しさあふれるたのしい幼稚園を築いてください。